

第18回 予防衛生協会セミナー

テーマ 「再生医療研究におけるサル類の有用性」

日時： 平成27年2月14日（土）

場所： つくばサイエンス・インフォメーションセンター 大会議室
つくば市吾妻1-10-1（つくばエクスプレスつくば駅徒歩3分）

募集： 100名

主催： 一般社団法人予防衛生協会

プログラム

9:40 開会挨拶

来賓挨拶

<再生医療研究におけるサル類の有用性>

9:50 「マーモセットを用いた再生医療研究の現場から」

井上 貴史（実験動物中央研究所 マーモセット研究部）

10:30 「カニクイザル iPS 細胞を用いた再生医療研究」

下澤 律浩（医薬基盤研究所 霊長類医科学研究センター）

11:10 休憩

11:25 「大動物を用いた再生医療研究～ヒト血液細胞をもつヒツジの作出」

阿部 朋行（自治医科大学 分子病態治療研究センター 再生医学研究部）

<ポスター展示>

12:05 昼食・休憩

<研究助成事業>

13:05 研究奨励賞・技術奨励賞授賞式

13:15 平成25年度研究奨励賞受賞者講演

「宿主遺伝子情報に基づいた HIV-1 カニクイザル感染モデルの開発」

齋藤 暁（Aaron Diamond AIDS Research Center）

<特別講演>

13:45 エボラウイルスとサル類

山内 一也（東京大学名誉教授）

14:45 休憩

<トピックス>

15:00 レーザー技術を用いたサル類飼育ケージと観察用ケージの開発

後藤 進（株式会社ロクス）

15:30 総合討論

15:45 閉会挨拶

*交通案内、駐車場利用等周辺情報については、つくばサイエンス・インフォメーションセンター (<http://www.city.tsukuba.ibaraki.jp/2117/007622.html>) をご参照ください。